

市民パワーで、緑地保全、環境教育を

3月定例議会での中原議員の一般質問と答弁の概要をお知らせします。

中原 緑の基本計画策定のための委員会、審議会の規模、構成は。

市長 羽村市緑の基本計画は、市内の緑地の保全と緑化促進、公園緑地の整備に対応するため、平成7年3月に策定、その後計画変更し、平成22年度までの計画となっている。このため、平成23年度から平成32年度までの10ケ年の計画を、平成21年度から2カ年かけて策定する。策定に当たる内部の委員会は、公園、農地、環境、都市計画、教育など幅広い分野の職員により構成し、審議会は市民公募委員も含め様々な分野から参画していただく構成にする予定。

中原 緑の環境教育について「市民がリーダーとなり、指導」とあるが、人材確保、指導方法は。

市長 現在、市の環境教育の一環として実施している、夏休みの環境教室や郷土博物館の動植物調査、あるいは、樹林地管理ボランティアの事業協力者の中から、環境関連の知識を有する市民が育成されてきている。このほか、市内には市民リーダーとして活躍できる知識等を持った人材がいるので、あらゆる機会を通じこれらの人材発掘に努めていく。また、今後さらに市民リーダーを育成確保するために、東京都が開催する緑地保全や自然観察などの知識や技術を習得するための講習会への参加を広く呼びかけていく。

自然に親しみ、環境教育に役立つウォーキングマップを

中原 以前、教育委員会体育課で作成した「ウォーキングマップ」を環境教育にも役立つようにリニューアルして、発行してはどうか。

市長 「羽村市ウォーキングマップ」は、市民の皆様が手軽にウォーキングを楽しんでいただけるように、平成14年3月に羽村市体育指導委員協議会が作成したものが、現在、すでに在庫がなくなっている。このため、平成20年度に、市民の皆様が緑の重要性を啓発するための緑化推進リーフレットを作成する予定であるので、この中で散策ルートの掲載について検討していく。

羽村民報

2008年4月20日 No.890
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷
日本共産党羽村市委員会事務所
電話 579-2132 FAX 579-2106
http://www.jcphamura.org

無料法律相談

5月13日(木)午後1時半～
羽村市委員会事務所 *要予約
中原まさゆき TEL 554-1163
市川 えい子 TEL 554-1140
鈴木たくや 080-1058-9450



樹木に名札、野草・野鳥の説明板を

中原 樹木に名札をつけ、野草、野鳥の説明板の設置をするなど、自然に親しみやすい工夫をしてはどうか。

市長 樹木の名札については、学校教育で活用するため、小中学校の敷地内の樹木に設置しているほか、富士見公園や動物公園、武蔵野公園やあさひ公園の主要な樹木、市内の保存樹木に設置している。また、企業と市民の方々との協働により通学路を中心に付けていただいたものもある。野草については、加美緑地や踊子草公園に設置されている。今後は土地所有者のご理解をいただき、市民の皆様のボランティア活動の一環として、多くの方が散策する道路沿いの山林内の樹木などに名札の取り付けを実施していく。なお野鳥の説明板については、これまで設置していないが、今後研究していく。



中原議員は「郷土博物館近くには建設省(現国土交通省)設置の自然保護を呼びかける看板(左写真)があり、羽村堰には東京都水道局が設置した玉川上水案内の看板があるが、いずれも絵や説明が不正確で、老朽化している」と指摘しました。市当局は「国土交通省や都に改善を要望したい」と答えました。

ネイチャーセンターの設置を

中原 環境教育や環境保全、里山づくりなどのボランティアの活動拠点として、ネイチャーセンターの設置を考えてはどうか。

市長 環境活動を行うボランティア組織としては、今年度、樹林地管理ボランティア組織が設立され活動が始まった。また、はむら自然友の会が多摩川の河川敷においてカワラノギクの保護育成をしたり、羽村螢研究会がホタル観察会を開催するなど環境保全や自然保護などを目的とした団体もそれぞれに活動を行っている。現在、それらの団体は、地域の会館や郷土博物館の学習室などを利用し活動しており、活動拠点はそれぞれ確保していることから、新たに、ネイチャーセンターを設置することは、現在、考えていない。